

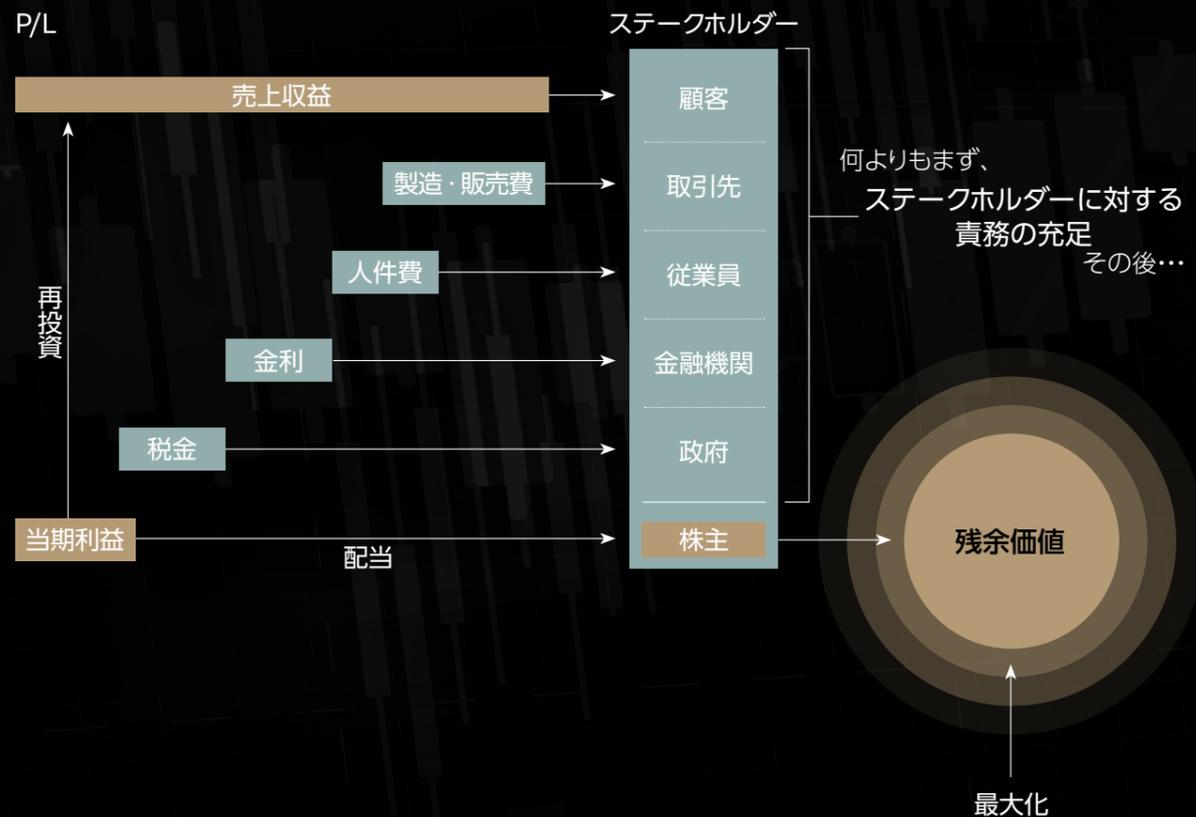
経営上の唯一のミッション 「株主価値最大化 (MSV)」

下図の通り、P/L(損益計算書)項目をステークホルダーとの関係で対比させると、まずは全てのステークホルダーに対する責務を充足することが大前提となります。「責務の充足」には法的な契約だけでなく、社会的、倫理的責務も含まれており、「サステナビリティ」の概念も含まれています。

そして、全てのステークホルダーへの責務を果たした上で、残存する価値を最大化し、株主に報いることが「MSV」です。各ステークホルダーへの責務は上限がありますが、残存する株主価値には上限がありません。

$$MSV = M(EP\text{S}) \times M(PER)$$

株価は「EPS(1株当たり当期利益)×PER(株価収益率)」で算出することができるため、当社は「EPS・PER両方の最大化」を追求しています。



EPSの最大化

当社はなぜ、当期利益ではなく「EPS」の最大化を追求するのでしょうか？それは、EPSの希薄化につながるような新株発行を伴えば、利益の拡大はEPSの減少につながりかねないためです。

「EPSの最大化」に向けては、

1. オーガニックな成長
2. アセットの積み上げ

の2軸で取り組んでおり、既存事業の成長に加え、最適な資金調達と財務規律の維持によるM&Aを通じて、「EPSの最大化」を目指していきます。

PERの最大化

PERは基本的に、EPS向上に対する資本市場からの期待値の反映です。当社は、積極的なIR活動や最適な財務戦略、サステナビリティ対応などと併せて、「良質なM&A」実績を積み上げることで、EPS向上への期待を高め、「PERの最大化」を目指していきます。